

令和3年度 第2回佐倉市社会教育委員会会議（書面会議）

会議録

会議名	令和3年度 第2回佐倉市社会教育委員会会議（書面会議）
日時	令和4年2月3日（木）
場所	執務室等
委員	上代 栄・山田 真史・佐藤 和隆・石輪 晴美・布施 和雄・ 木原 義春・小川 美津子・沼尻 潤・吉村 真理子・ 渡辺 聡・渡邊 久子・高橋 莞爾・一場 郁夫・横山 政子・ 酒井 友海
事務局	教育委員会教育部社会教育課・教育委員会教育部文化課・ こども支援部こども政策課・健康推進部生涯スポーツ課
作成者	社会教育課：酒井

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の対象外であるが、新型コロナウイルス感染症の収束が見えておらず、引き続き感染防止の措置を取っていく必要があることから、「書面会議」の形式として開催しました。

※書面会議は、委員へ会議資料及び会議資料の説明等を送付し、議事についての採決表を期日までに返送していただく方法によりました。

※委員からの採決表のとりまとめ日をもって、会議期日としました。

※本会議録は、委員に配布した会議資料の説明により作成しました。

会議次第

1 開会 … (略)

2 教育長挨拶 … (略)

3 議事

(1) 令和3年度佐倉市社会教育関係事業の報告について

①教育委員会教育部 社会教育課

②教育委員会教育部 文化課

③こども支援部 こども政策課

④健康推進部 生涯スポーツ課

⑤社会教育委員関係行事

4 閉会 … (略)

1 開会 ～ 2 教育長挨拶

(略)

3 議事

○事務局

令和3年度第2回佐倉市社会教育委員会議を、書面形式により開催いたします。

はじめに、佐倉市社会教育委員設置条例第6条第2項で、会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない、と定められております。今回の会議は、書面による会議といたしておりますことから、15名全員の出席といたします。

今回の会議は、書面による会議でありますので、傍聴者はありません。

また、会議録につきましては、会議資料の説明文などにに基づき作成する予定です。

続きまして、会議録署名人を指名させていただきます。名簿の順番により、今回は「沼尻潤委員」と「吉村真理子委員」にお願いいたします。

○事務局

別紙1「会議資料」をご覧ください。

会議資料の1ページから7ページにおいて、令和3年度の社会教育関係の事業につきまして、担当課別に報告をいたしております。

各課資料の説明につきましては、次のページ以降をご覧ください。

令和3年度に予定しておりましたイベントなどの事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となったものもございますが、感染防止対策などに工夫を重ねて実施した事業もございます。

○事務局

今年度の社会教育課関係の事業につきまして、報告いたします。会議資料の1ページをご覧ください。

はじめに、地域教育活動推進事業は、子育てにおける家庭教育の重要性を認識し、問題解決が図れるよう家庭教育学級、家庭教育講演会や学童期・思春期の子育て講座のほか、中学3年生を対象とした子育て理解講座など、家庭の教育力推進や、佐倉市PTA連絡協議会への支援を主に行う事業です。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、多くの講座を中止しましたが、子育て理解講座につきましては、講座を収録したDVDを各中学校へ配布し、各学校の計画に基づいて講座を実施しました。学童期子育て学習講演会につきましては、「自分を好きと言える子に育てたい」をテーマに、YouTubeで配信を行っております。今後も、様々な機会を捉えて、家庭の教育力向上に向けた学習機会の提供を行ってまいります。

次に、佐倉学事業は、公民館、図書館と連携をとりながら、佐倉学の推進を図る事業です。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、佐倉学子供作品展につきましては、校内展示として開催し、523作品の応募がありました。また、「佐倉学リレー講座」につきましては、感染拡大防止のため、中止としました。

次のページに移りまして、「人権教育事業」では、「いじめって何ですか？ ～いじめに対する大人の認識を考える～」をテーマに、オンライン配信で講演会を行いました。

次の「学校開放事業」につきましては、学校の安全を第一に、新型コロナウイルスの感染状況や他の公共施設の開放状況も鑑みながら、小中学校の教育活動に支障のない範囲において実施いたしました。

続きまして、佐倉図書館の改築工事は、令和5年3月の開館に向け、準備を進めております。令和3年3月に愛称を募集し、選定基準に基づき選定された3点の最終候補について、令和3年6月に、市内小中学校の児童生徒で投票し最終選考を行った結果、愛称は「夢咲くら館（ゆめさくらかん）」に決定しました。

社会教育課からは、以上となります。

○事務局

令和3年度文化課関係の事業につきまして、報告をいたします。3ページをご覧ください。

まず、「佐倉市民文化祭事業」につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し、昨年度に引き続き中止といたしました。

「文化普及事業」の文化情報誌「風媒花」は、7月に700部を発行・頒布いたしました。

「国際理解促進事業」に関しては、佐倉日蘭協会が主催する佐倉オランダ児童交流事業が新型コロナウイルス感染症の影響を受け、今年度も中止しておりますが、協会への支援などを継続して行っております。

「佐倉市文化財審議会」は市内の文化財について、専門的見地からご指導いただくもので、年2回程度開催しております。

「文化財普及啓発事業」では、市内の文化財の周知や施設のVR映像の公開などの活用を行っていますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として安全面に配慮し、文化財施設の特別公開や甲冑試着会や、その他普及事業については、開催時期や方法を検討して実施します。

「指定文化財等の保護管理」では、指定・登録文化財の保全や管理のため、所有者に対して修繕や活動費用等の助成を行います。

「埋蔵文化財の保護事業」では、開発行為における指導や協議、発掘調査等を行っております。

「史跡井野長割遺跡保存整備事業」及び「史跡本佐倉城跡保存整備事業」では、草刈等の経常管理の他、講演会や現地見学会を予定しています。

「市民文化資産保全活用」は、地域で保存継承されている文化資産を選定し、将来に残していく取り組みです。

「日本遺産活用推進事業」は県、「日本遺産 北総四都市江戸紀行」について周知に努めるとともに、佐倉の祭礼に関わる山車等、貴重な祭礼用具の保存・修復への助成を行ってまいります。

予算概要では、文化課が市民音楽ホールと市立美術館の連絡調整を行っているため2施設の予算も併せて掲載しています。なお、文化課所管の補助金である「文化財保存事業補助金」は、主に建造物や祭礼用具等の文化財の修復・管理等の費用へ補助するものです。

○事務局

令和3年度こども政策課が所管している3団体への支援活動と成人式につきまして、報告をいたします。会議資料は、5ページとなります。

はじめに、「子ども会育成連盟事業」でございます。令和4年1月1日現在、佐倉市子ども会育成連盟には、19団体が加盟し、794名の会員がおります。今年度予定していた活動につきましては、ジュニアリーダー初級認定講習会、育成者講習会、子ども会中央交流フェスティバル、いずれも新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催困難と判断し、中止といたしました。

次に、「青少年相談員事業」です。青少年相談員は、青少年活動を支援するボランティアとして、現在、第20期の87名の方に活動いただいております。

今年度の主な活動といたしましては、11月21日（日）に新規事業として「なぞときアドベンチャー」を開催し、小学生79名の参加がありました。また、コロナ禍においてもできる事業という事で昨年企画し好評だった「たこ作り大作戦～おうちで凧作り体験企画～」を今年度も実施し、261名の参加がございました。なお、たこあげ大会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止といたしました。

次に、「青少年育成市民会議事業」です。青少年育成市民会議は、少年非行を防止するため、国の呼びかけによって設立した団体です。今年度は、親子農業体験である「畑の学校」を開催し、親子24組92名のご参加をいただきました。地域のつながりを目的とした「地域交流まつり」、青少年を取り巻く課題について話し合う「トーク大会」等は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりましたが、各地区における「防犯パトロール」については実施しております。

最後に成人式でございます。成人式は、1月10日の成人の日に、市民音楽ホールで開催し、対象者1,565名のうち1,178名が参加、参加率75.3%でございました。開催にあたりましては、新成人からなる運営委員（12名）により、式典内容や記念品について検討を行い、恩師によるスライドショー、小学生スピーチを実施しております。また、スライドショーの作成では、運営委員が恩師を訪ねて新成人へのメッセージを頂き編集を行い、記念誌についても恩師からのメッセージや佐倉の魅

力特集、佐倉ゆかりの著名人からのメッセージを自分たちで取材、編集、執筆を行い作成しました。

こども政策課からは、以上でございます。

○事務局

令和3年度生涯スポーツ課関係の事業につきまして、報告をします。

会議資料は、6ページとなります。昨年度に引き続き、本年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、一部の事業が中止または延期となりました。

初めに、スポーツ大会事業は、佐倉市体育協会と共催する21の市民大会のうち、5大会が中止となりましたが、9大会を開催し、小学生～高齢者まで延べ3502名の方にご参加いただきました。その他の7大会については、2月または3月に開催を予定しています。

次に、市主催事業では、「子ども相撲大会」他3事業が中止となりました。「ニュースポーツまつり」については、感染症拡大防止策を徹底した上で開催し、小さなお子さんから高齢者まで延べ115名にご参加いただきました。また、「第40回佐倉マラソン」は、来年度への延期が決定しています。

続いて、6ページから7ページ、郡・県民体育大会事業では、「第72回印旛郡市民体育大会」他すべての事業が中止となりました。

続いて、スポーツ教室事業では、「親子体操教室」が中止となりましたが、「ストレッチポール教室」他2教室を開催し、延べ254名にご参加いただきました。「ランニング教室」及び「トップアスリート教室」は3月に予定しています。

続いて、スポーツ啓発事業でございます。「ALL for CHIBA 佐倉市デー」を開催し、特産品のやまといも配布や千葉ロッテマリーンズ公式戦の市民招待を行いました。また、「佐倉イースタンリーグ」は会場変更となり、「長嶋茂雄少年野球教室」は、来年度へ延期となりました。

次のスポーツ団体支援事業については、ニュースポーツ用具を地域や職場などへ貸し出しを行っています。また、各種補助金の交付については、佐倉市体育協会や佐倉市スポーツ少年団に対し、活動事業補助金を交付しています。各種事業の共催・後援については、公共性のある事業に対して、市として共催又は後援を行ったものであり、本年度は現在までに14の事業がございます。

次の指導者育成・支援事業については、スポーツ推進委員の活動支援や、スポーツリーダーバンクによる指導者派遣事業を実施しています。

最後に、スポーツ施設管理運営事業では、市民体育館や岩名運動公園などの市内体育施設を充実させ、また、安全・快適にご利用いただくために、管理運営の委託先である指定管理者と連携をし、スポーツの普及や様々なサービスの工夫に努めています。

○事務局

令和3年度佐倉市社会教育委員関係行事の報告につきましては、会議資料の8ページとなります。

9月に開催された印旛郡市社会教育振興大会は少人数での実施となり、事務局のみ出席しました。

新型コロナウイルス感染症の流行が始まって2年ほどが経過し、社会教育委員の皆さまにおかれましては、直接お会いする機会がないまま、今年6月で任期満了を迎えることとなり、大変恐縮ですが、今後とも佐倉市の社会教育行政にご理解とご協力を賜りたく、お願い申し上げます。

○事務局

以上をもちまして、令和3年度第1回佐倉市社会教育委員会議を終了いたします。

4 閉会

(略)

採決結果について

採決の結果は、下表のとおりであり、議事は承認されました。

議 事	承 認	不承認	採決結果
(1) 令和3年度佐倉市社会教育関係事業の報告について	15	0	承認

委員から寄せられた意見、提案について

採決と併せ、次のとおり意見、提案が寄せられたので、採決結果と併せて各委員へ報告しました。

- ・学校開放を多くの団体が利用している。コロナ禍の使用で、何が良いのか悪いのかが悩みである。
- ・子育て理解講座や学童期子育て学習講演会、人権教育事業のオンライン配信は、コロナ収束後も是非続けていただきたいと思います。より多くの方が自分の都合に合わせて視聴でき、大変よい試みと考えます。
- ・コロナ禍の長く続く「中止」の影響で、教育にひずみが生じていると思うので、コロナ後の対応が憂慮されます。
- ・コロナ禍による市民に向けた文化やスポーツ等の社会教育事業の中止も2年目となります。この状況は、今後も続くと思われことから、コロナ禍に対応した

「これからの社会教育」の在り方について検討していく必要があるのかもしれない。

その中で、佐倉市観光協会主催「雷電為右衛門キャンペーン」の雷電スタンプラリーは期間内で自由に史跡巡りができることから、三密を避けられるイベントとして、参考になると思います。コロナ禍では、密になりやすいスポーツ的行事は中止になる傾向がありますが、今後はこのような参加者を分散して実施できる工夫も必要なのかもしれない。

県教委文化財課が作成した『身近な日本遺産「北総四都市江戸紀行」校外学習のご案内』のリーフレットでは、佐倉市の見学コースを取り上げています。各事業ごとの実施よりも、佐倉学と関係づけるなど、学社連携による効果的な事業の可能性を感じます。

事業報告の文字情報のみでは事業内容が見えないので、可能であれば、画像資料の添付や作成したリーフレット等を送付していただくと参考になるかと思います。

- ・ 今後も感染防止対策を工夫して、市民にとって貴重となるイベントを実施していただきたいと思います。